

平成26年度 指定管理者年度総合評価表

(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年 6月 5日
-----	-------------

(注)平成28年6月2日
3 収入状況表中の維持管理経費、支出総額及び収支を修正

■指定管理者概要

施設名	八戸市水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場 14 番地 33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料等及び海の生態に関する資料等を展示すること並びにその他水産に関する知識の普及及び向上を図る	
	構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 5 階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ家 6-38
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
指定管理者の業務	八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること 施設の使用許可に関すること 施設設備等の維持管理に関すること	
市所管課 (問合せ先)	まちづくり文化スポーツ観光部 観光課 観光物産グループ	
	電話	0178-43-9252 (直通)
	E-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

<p style="text-align: center;">評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動について 当活動は、通常では体験できない内容と企画が高い評価を得ており、当館を運営する上で最も重要な事業として位置付けている。26年度は高校生以上の学生・生徒を対象とした『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア』を発足。 ・ 館内表示のグローバル化について 三陸復興国立公園や三陸ジオパークの指定に伴い、来館者のグローバル化に対応するため、外部資金を利用し、館内表示の多言語化（英語・中国語・韓国語）を実施。外国人来館者対応の強化を図った。 ・ 老朽化した展示設備（大型水槽機材等）のリニューアルについて 経年劣化の著しい大型水槽3基をリニューアル。鑑賞する来館者の安全が確保されたとともに、地域の漁業者との協力・信頼関係が構築され、水槽展示内容の充実化に繋がった。 ・ 安定的な入館者数を確保するための企画力アップと、安心・安全な施設運営。そしてそれらを達成していくための継続的な人材育成について <p>〈展示関係〉 展示内容の理解をより深めることを目的として設置したワークシートは、継続的にマリエントへ足を運んでもらうための重要なツールの1つになっている。また、北海道立オホーツク流水科学センターの協力・連携により開催した「流水にさわってみよう！」や、東北区水産研究所のご協力のもと実施した「アオウミガメの健康診断」には多くのお客様が来館した。その他、夏休み期間に合わせ、自由研究企画「イカとタコの違いはなあに？」を開催。多くの子ども達が来館し、自由研究の題材として取り上げた。</p> <p>〈情報発信の強化〉 情報発信の強化を図るため、ホームページをリニューアル。また、水槽側からダイバーが来館者を撮影した写真コーナー「魚眼図」も開設。来館者がホームページを見る導線となり、情報発信の充実につながった。</p> <p>〈施設・設備の老朽化対策と利便性の向上〉 施設・設備の老朽化に伴い、安全の確保と利便性の向上のために、水槽（3基）の改修の他、随時、八戸市観光課と相談・調整を行い、施設の改修、設備のリニューアル等を実施した。</p> <p>〈協働のまちづくりに関わる取り組み〉 地域行事への人員派遣や景品の提供、八戸花火大会時における見学場所とトイレの提供及び飲食物の販売、職場体験やインターンシップ、社会適応訓練生の積極的な受入れを行った。また、三陸復興国立公園に指定された種差海岸の写真展や、地元保育園の活動を紹介する展示など、“地域の資源”や“地域の活動”を取り上げた展示を行った。</p> <p>〈施設の利用状況〉 以上の取り組みなどにより、平成26年度における施設の利用状況は、指定管理者制度導入後、最多となる入館者数71,847名となり、前年対比の107%を達成することができた。</p>
<p style="text-align: center;">今後の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○業務提携をしている東北区水産研究所の研究成果を紹介するスペースを新たに設置し、水産科学展示の充実と強化を図る。 ○各関係機関との連携を強め、適切な情報を多くの来館者に伝え、水産科学館としての役割を果たす。 ○マリエント「ちきゅう」たんけんクラブについては、シニア活動の本格的開始年度として、関係機関と連携を図り、ジュニア活動はもとより『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ』活動全体として、より一層の充実と拡大を図る。 ○人気企画となっている「夜のマリエント」の開催期間を延長し、お客様の満足度を上げる。 ○八食センターとの協力・連携を図り、より多くの観光客の誘致に積極的に取り組むため、共同企画の実施や出張水族館の協力などを行う。 ○地元の高等学校と連携し、ポスターの共同作成やオリジナルロゴの作成など、広報を強化する。 ○安定的な入館者数を確保するための企画力アップと、安心・安全な施設運営。そしてそれらを達成していくための人材育成を継続的に行う。

■市（所管課）の総合評価

<p>評 価</p>	<p>指定管理者にとって、新たな指定管理期間の初年度である 26 年度においても、これまでの指定管理期間で培われたノウハウを生かした様々な展示が行われた。</p> <p>3 階展示室では、リニューアルした水槽を活用した新規生体の展示、北海道立オホーツク流水科学センター G I Z A の協力による流水の実物の展示、海水魚と淡水魚が同じ水槽内で飼育できる好適環境水による展示の常設化等より展示が充実したほか、水生生物を用いた体験企画が実施された。</p> <p>また、生体に直に触れることができ、子どもに人気のタッチ水槽では、地元漁業者の協力により、生体の種類・個体数が充実したほか、白いナマコやウニも提供され、話題性とともに入館者の増加が図られた。</p> <p>4 階の展示スペースでは、種差海岸の写真展や青森県南に生息する野鳥の絵画展、「JAMSTEC 特別展示～しんかい 6500 の軌跡～」等が開催された。</p> <p>館の情報発信においては、マリエント通信による継続的な広報のほか、ホームページのリニューアルによって情報発信の強化が図られた。</p> <p>以上の積極的な企画展示や体験企画、広報の実施により、館の魅力向上や利用者の満足度の向上が図られたことにより、平成 18 年度に指定管理者制度が導入されて以来の最高であり、開館 3 年目の平成 3 年度以来、23 年ぶりの年間入館者数 7 万人を達成した。</p>
<p>指摘事項</p>	<p>食堂施設入居事業者との間の見解の相違について、解決を図ろうとしているところであるが、施設の運営に直接的な影響が出ないよう留意すること。</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を臨時休館日だけにするなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容とは異なるが、雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書管理規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。

利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	平成 21 年度から平成 25 年度、平成 26 年度から平成 30 年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	平成 21 年度から平成 25 年度、平成 26 年度から平成 30 年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者数が当初の目標を達成するとともに、前年実績を上回った。 ・平成 25 年度 目標入館者数 60,000 人 実績入館者数 67,053 人 ・平成 26 年度 目標入館者数 63,000 人 実績入館者数 71,847 人（対前年度比 107.1%、達成率 114.0%）
自主事業	○	自主事業を実施し、入館者増等に効果があった。 ・マリエント市の実施 ・八戸花火大会の際の開館時間延長 ・夜のマリエントの実施 ・売店事業及び自動販売機事業 ・元旦の来館者へのくじら汁のお振舞い

<p>その他の取組 (運営に関する工夫)</p>	<p>○ 附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動 平成19年度に会員10名でスタートしたマリエント「ちきゅう」たんけんクラブは、平成26年度は会員数172名で活動した。 また、平成26年度は、これまでの中学生以下を対象とした「ちきゅう」たんけんクラブに加えて、高校生以上の学生を対象とした「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアが発足、会員数47名でスタートした。 26年度は、JAMSTEC しんかい6500の元パイロットによる講演、むつ市下北自然の家ちどり浜での1泊2日沿岸観察会、東北区水産研究所の協力による巨大イカの解剖、岩手県立種市高校の協力による南部ダイバーや海の仕事学習会、深久保漁業生産部会協力による地曳網体験やウニ剥き体験、新井田川漁協協力によるサケの採卵・受精体験等、関係機関と連携したクラブならではの充実した活動が行われた。</p>
------------------------------	--

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
<p>指定管理業務の収支状況</p>	<p>○</p>	<p>収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="630 840 1452 1467"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>12,724,000</td> <td>13,254,030</td> <td>13,120,710</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>44,254,000</td> <td>44,254,000</td> <td>42,391,000</td> </tr> <tr> <td>ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費</td> <td>115,000</td> <td>342,820</td> <td>290,300</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>977</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57,093,000</td> <td>57,850,850</td> <td>55,802,987</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人件費</td> <td>31,910,000</td> <td>26,630,209</td> <td>26,707,934</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>19,290,000</td> <td>21,645,305</td> <td>20,559,444</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>3,893,000</td> <td>4,902,590</td> <td>5,875,216</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>2,000,000</td> <td>2,289,731</td> <td>1,949,090</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57,093,000</td> <td>55,467,835</td> <td>55,091,684</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>2,383,015</td> <td>711,303</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	12,724,000	13,254,030	13,120,710	指定管理料	44,254,000	44,254,000	42,391,000	ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費	115,000	342,820	290,300	雑収入	0	0	977	修繕料繰越金	-	-	0	計	57,093,000	57,850,850	55,802,987	支出②	人件費	31,910,000	26,630,209	26,707,934	維持管理経費	19,290,000	21,645,305	20,559,444	事業費・一般事務費	3,893,000	4,902,590	5,875,216	租税	2,000,000	2,289,731	1,949,090	計	57,093,000	55,467,835	55,091,684		次年度修繕料繰越金③	0	0	-		収入－支出(①-②-③)	0	2,383,015	711,303
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																											
収入①	利用料金	12,724,000	13,254,030	13,120,710																																																											
	指定管理料	44,254,000	44,254,000	42,391,000																																																											
	ちきゅうたんけんクラブの会費及び活動に係る実費	115,000	342,820	290,300																																																											
	雑収入	0	0	977																																																											
	修繕料繰越金	-	-	0																																																											
	計	57,093,000	57,850,850	55,802,987																																																											
支出②	人件費	31,910,000	26,630,209	26,707,934																																																											
	維持管理経費	19,290,000	21,645,305	20,559,444																																																											
	事業費・一般事務費	3,893,000	4,902,590	5,875,216																																																											
	租税	2,000,000	2,289,731	1,949,090																																																											
	計	57,093,000	55,467,835	55,091,684																																																											
	次年度修繕料繰越金③	0	0	-																																																											
	収入－支出(①-②-③)	0	2,383,015	711,303																																																											
<p>自主事業の収支状況</p>	<p>○</p>	<p>収支計画を達成し、黒字であった。 収入 4,759,051円 支出 2,431,417円 収支 2,327,634円</p>																																																													

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
<p>利用者満足度の把握</p>	<p>○</p>	<p>利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p>
<p>施設概要(利用方法)の周知</p>	<p>○</p>	<p>施設概要や利用方法等をホームページやマリエント通信等で積極的に周知していた。</p>
<p>苦情・要望等の受付体制</p>	<p>○</p>	<p>苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 420枚</p>
<p>苦情・要望等への対応</p>	<p>○</p>	<p>苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 26年度実績 21件(苦情 8件、要望 13件)</p>
<p>個人情報の保護</p>	<p>○</p>	<p>個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)</p>

情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクル推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のご教示や、館内にアンケート箱を設置し利用者の意見を参考に、早急な対応と改善を随時行った。 ・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理・運営に反映した。 ・施設・設備については定期点検を行い、必要な修繕については随時、実施した。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月例報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実施回数	実施日	実施者	実施内容
25回	4月3日	担当	施設運営等に関する打合せ
	4月18日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	4月25日		
	5月1日	担当	施設運営等に関する打合せ
	6月25日	GL	施設運営等に関する打合せ
	8月1日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	8月19日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
	8月26日		
	9月24日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	9月25日	担当	施設運営等に関する打合せ
	10月8日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	10月21日	GL、担当	新年度予算要求に関する打合せ
	10月30日		
	11月6日	担当	修繕等に関する打合せ
	11月14日	GL、担当	新年度予算要求に関する打合せ
	12月5日	担当	施設運営等に関する打合せ
	1月20日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	1月22日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
	1月28日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	2月23日		
	2月24日	GL、担当	修繕等に関する打合せ
	2月25日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	3月3日		
	3月30日	担当	施設運営等に関する打合せ
	3月31日	担当	修繕等に関する打合せ
実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営等に関する打合せ、修繕等に関する打合せを行った。 ・新年度予算要求に関する打合せを行った。 			

※GL：グループリーダー